



松下賢一郎 議会レポート

発行責任者
藤沢市議会議員
松下賢一郎
TEL 0466-34-4570
matusita@tbb.t-com.ne.jp

「藤沢市議会基本条例」の制定を目指します！

「藤沢市議会基本条例」制定の目的



藤沢市議会では、議会改革を進めるために昨年10月から「議会改革検討会（松下座長）」を設置して「藤沢市議会基本条例（来年4月施行予定）」の制定に向けて検討を進めています。

条例制定の理念としては、今までの議会運営を大きく見直し、より市民に開かれた議会運営を目指すとともに、市長と議会の関係では、二元代表制のもとでの議会の役割を明確にするとともに、市民の意思を市政に反映させるため、市民の多様な意見を的確に把握する機会を設けながら、市民代表として最高の意思決定機関とすべく、公正かつ適正な議論を尽くし、真の地方自治の実現に取り組みます。

議会改革の具体的な取り組み

【市民と議会の関係】

請願、陳情を市民の政策提案と位置づけ、提案者の意見を聴取する機会（常任委員会での市民の意見陳述）を設けることを規定します。また、「市民の多様な意見把握」と「議会の説明責任」を遂行するため、議員が市民向けに市議会の活動を報告する「議会報告会」の開催を規定します。

【議会と市長との関係】

議会質疑の論点を明確にし、議論をより深める為に、予算・決算等の委員会質疑における一問一答方式の導入を目指します。また、議員からの質問に対して、市長等執行機関からの反問権を与えます。

【議会機能の充実】

議会は、議員による討論の場であることを強く認識し、新たに議員相互間の討議の場を設けます。（従来は市当局に対する質疑の後、結論を出していたものを、質疑の後に議員間で討議を行い、意見の食い違いなど議論をしながら結論を導きます。）

条例制定に向けた今後の取り組み

現在、「議会への評価、市民の議会への意見反映、議会への要望等」について、「市議会に関するアンケート（3千人無作為抽出）」を実施しています。また、7月7日、8日には「市民の声を聴く会」を開催し、すべての議員が4グループに分かれ、市内4会場で市民の皆さんから、議会に対する認識と議会に求める対応等、率直なご意見をお聞きして、今後の検討材料にしていきます。

【市民の声を聴く会】

・7月7日（土）15:30～

＊ 鵜沼市民センター

＊ 村岡公民館

・7月8日（日）13:30～

＊ 湘南大庭市民センター

＊ 湘南台市民センター

※ いずれの会場も自由に参加出来ます

今後の予定としては、アンケート結果や市民の声を聴く会で頂いたご意見などを集約し、条例案の内容を詰めて、11月には条例素案をまとめパブリックコメントを実施してまいります。

市議会が市民の皆さんから信頼され、存在意義をしっかりと果たしていくためにも「藤沢市議会基本条例」の制定は待ったなしの課題であり、実効性が伴う条例として制定してまいりたいと思います。



【議会基本条例とは】

地方議会の最高規範ともいえる条例であり、議会と議員の活動原則や市民参加を促進することなどを明文化しています。議会基本条例の制定は1つの区切りであり、制定後の積極的な活動が重要となります。

【議会基本条例の制定状況】

2011年3月現在で全国168議会（55町村・15道府県・98市）で制定。県内では、県議会、川崎市、横須賀市、茅ヶ崎市と5町が制定。大和市、鎌倉市、小田原市等が制定に向け検討中です。

小・中学校の教育環境改善に向けて

これまで保護者の方達から、学校のトイレ臭気対策や夏の猛暑対策としてエアコン設置を求める声が多数寄せられ、計画的に取り組むよう教育委員会に要望してきましたが、今後の対応について、具体的な年次計画が明らかになりました。



【小中学校のエアコン設置】設置は中学校を優先的に平成24年度6校(高浜・明治・大庭・羽鳥・鵜沼・高倉)と25年度9校(藤ヶ岡・秋葉台・善行・湘南台・滝の沢・湘洋・御所見・村岡・大清水)を整備することになります。また、小学校の普通教室(29校)については、平成26年から30年度までの間に実施する予定となっています。

【トイレ改修(臭気対策と和式の洋式化)】小学校(28校)を優先的に取り組み、平成23年度は小学校5校

(大庭・富士見台・片瀬・辻堂・中里)と中学校1校(鵜沼)で実施され、平成24年度は小学校4校(明治・新林・天神・高谷)と中学校1校(御所見)、平成25年度は小学校5校(藤沢・村岡・長後・八松・羽鳥)で実施します。残りの小学校(14校)については、平成26年度から27年度の間に行い、中学校(10校)については、平成27年度から29年度の間に対応する予定となっています。

平成26年度以降の対応について、今後も出来る限り前倒しして実施するよう求めてまいります。

【学校施設の改修整備】津波対策として、屋上フェンス拡張(設置)工事を以下の学校で実施します。鵜南小・鵜洋小・辻堂小・白浜養護学校。

なお、大地震等、津波が予想される際は、児童を一時学校にとめ置き、下校は保護者への受け渡しを基本とします。今後は、近隣住民の避難についても検討していくこととなります。

不活化ポリオワクチンが導入されます

【ポリオとは】ポリオウイルスが経口からヒトの体内に入り、咽頭や小腸の粘膜で増殖し、その後脊髄を中心とする中枢神経へ達し、これらを破壊することによってポリオの症状を生ずる感染症です。現在のところ、確実な治療方法はなく、ワクチン接種が唯一の予防方法となっています。

しかし、生ポリオワクチン予防接種(口から飲む経口ワクチン)については、ごくまれに副作用として、ポリオ様麻痺が出現することがあり、以前から、不活化ポリオワクチン(注射)の導入が求められてきました。

【不活化ポリオワクチン】厚生労働省の「不活化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会」では、定期接種として単独不活化ポリオワクチン接種を今年9月1日から実施する方針を示し、藤沢市としても医療機関との調整を進めています。

【不活化ポリオワクチンの定期接種】これまでの生ポリオワクチンは2回接種でしたが、不活化ポリオワクチ

ンは4回接種となります(1回目の生ポリオワクチンを接種した方は、2回目以降は不活化ポリオワクチンを受けます。なお、生ポリオワクチンをすでに2回接種した方は不活化ポリオワクチンの追加接種は不要です)。

標準的な初回接種は生後3ヶ月から12ヶ月ですが、生後90ヶ月(7歳6ヶ月)までの間であれば不活化ポリオワクチンの定期接種が可能です。

また、現在は春と秋に集団接種で行われてきましたが、今後は通年接種が可能となる予定です。また、医療機関での個別接種に向け検討しています。なお、ジフテリア・百日咳・破傷風および不活化ポリオワクチンの四種混合ワクチンは、11月以降の導入が予定されています。



松下賢一郎プロフィール <http://www.k-matusita.com>

- 1958年生まれ54才・鎌倉学園高校卒・神奈川大学卒
- 神奈川トヨタ自動車(株)に17年間勤務
- 平成11年藤沢市議会議員初当選(現4期)
- 藤沢市議会副議長(現在)・公明党県本部副幹事長(現在)

松下賢一郎
ウェブサイト
QRコード

